

取扱いの趣旨

う蝕薬物塗布処置は、う蝕の進行抑制を目的として行われるものであり、算定にあたっては、「う蝕（C）」病名の記載が適切であることから、「う蝕（C）」以外で当該処置の算定は原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【処置】

《令和3年2月22日》

97 う蝕薬物塗布処置③

○ 取扱い

原則として、「う蝕（C）」以外の傷病名で、う蝕薬物塗布処置の算定を認めない。

○ 取扱いを定めた理由

う蝕薬物塗布処置は、う蝕の進行抑制を目的として行われるものであり、算定にあたっては、「う蝕（C）」病名の記載が適切である。

初回検証からフォローアップ検証までの改善状況及び今後の対応

全都道府県改善

フォローアップ検証終了時点の改善都道府県数

47

■都道府県の改善状況

初回検証のフォローアップ対象都道府県数	フォローアップ検証後の未改善都道府県数
4	0

※令和5年10月の少数事例の基準の整理により、初回検証のフォローアップ対象都道府県数は、7都道府県から4都道府県に変更

■誤り件数の改善状況

要因別	初回検証の誤り件数/年	フォローアップ検証の誤り件数/6か月（年換算）	改善率
職員	167	0（0）	100.0%
審査委員	11	1（2）	81.8%
合計	178	1（2）	81.8%

■フォローアップ検証で改善（※少数事例に該当する都道府県含む）した都道府県：4

新潟、山梨、大阪、奈良

※少数事例は、コンピュータチェック根拠と異なる件数や割合が以下のとおりである。

- ・全国で年間10件未満の事例
- ・年間100件未満かつ1割未満又は都道府県別少数事例基準件数以下の都道府県【令和5年10月以降】
- ・年間10件未満かつ1割未満又は年間1件の都道府県【令和5年9月まで】
- ・全都道府県が適正な審査に改善。ただし、少数事例に該当する都道府県は、差異が確実に解消するよう引き続き取扱いの連絡・周知を徹底する。

該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数388件のうち、**取扱いと異なる審査は1件（0.26%）**

都道府県	検証結果										
	該当件数	コンピュータチェック根拠に基づく適正な審査						コンピュータチェック根拠と異なる審査			
		計	適正審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			コンピュータチェック根拠と異なる審査			
					査定	返戻	査定 返戻 計				
					詳細等 から適正			異なる審査 合計	異なる審査 の割合	職員	審査委員
01 北海道	15										
02 青森	0										
03 岩手	4										
04 宮城	4										
05 秋田	1										
06 山形	1										
07 福島	4										
08 茨城	2										
09 栃木	1										
10 群馬	4										
11 埼玉	21										
12 千葉	43										
13 東京	60										
14 神奈川	36										
15 新潟	3										
16 富山	3										
17 石川	1										
18 福井	1										
19 山梨	1										
20 長野	3										
21 岐阜	5										
22 静岡	7										
23 愛知	36										
24 三重	5										
25 滋賀	1										
26 京都	2										
27 大阪	60	59	98.33%	4	28	32	27	1	1.67%	0	1
28 兵庫	10										
29 奈良	8										
30 和歌山	2										
31 鳥取	1										
32 島根	1										
33 岡山	3										
34 広島	4										
35 山口	4										
36 徳島	2										
37 香川	7										
38 愛媛	2										
39 高知	0										
40 福岡	7										
41 佐賀	1										
42 長崎	3										
43 熊本	1										
44 大分	1										
45 宮崎	4										
46 鹿児島	2										
47 沖縄	1										
全国	388							1	0.26%	0	1

※グレーは改善都道府県

該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数1,006件のうち、**817件（81.21%）が適正な審査結果（検証前は78.33%）**
取扱いと異なる審査が189件（18.79%）

⇒概評：請求どおり（208件）を検証の結果、適正審査と確認されたレセプトは、他の治療の実施が困難な患者に対して、う蝕の進行抑制を目的としてう蝕薬物塗布処置を実施している症例や該当レセプトに当該処置を必要とした状況が記載されていることから適正と判断した事例であった。

都道府県	検証結果												都道府県	検証結果											
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査							取扱いと異なる審査 (ＣＣ解除等の誤処理)					該当件数	取扱いに基づく適正な審査							取扱いと異なる審査 (ＣＣ解除等の誤処理)			
		計	適正 審査 合計	少数事例 該当都道 府県合計	適正審査 の割合	査定・返戻									請求どおり	計	適正 審査 合計	少数事例 該当都道 府県合計	適正審査 の割合	査定・返戻					
査定	返戻					査定 返戻 計	詳記等 から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員	査定	返戻	査定 返戻 計						詳記等 から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員	
01 北海道	94	84	0	89.36%	67	17	84	0	10	10.64%	4	6	25 滋賀	1	0	1									
02 青森	4	0	4										26 京都	20	0	20									
03 岩手	8	8	0	100.00%	2	3	5	3	0	0.00%	0	0	27 大阪	213	104	0	48.83%	19	70	89	15	109	51.17%	103	6
04 宮城	11	0	11										28 兵庫	50	0	50									
05 秋田	4	0	4										29 奈良	13	10	0	76.92%	9	1	10	0	3	23.08%	3	0
06 山形	3	0	3										30 和歌山	5	0	5									
07 福島	14	0	14										31 鳥取	-	0	-									
08 茨城	3	0	3										32 島根	2	0	2									
09 栃木	6	0	6										33 岡山	6	0	6									
10 群馬	16	0	16										34 広島	5	0	5									
11 埼玉	39	0	39										35 山口	4	0	4									
12 千葉	60	0	60										36 徳島	3	0	3									
13 東京	81	0	81										37 香川	6	5	0	83.33%	1	3	4	1	1	16.67%	1	0
14 神奈川	70	0	70										38 愛媛	12	0	12									
15 新潟	70	6	0	8.57%	0	6	6	0	64	91.43%	61	3	39 高知	2	0	2									
16 富山	12	0	12										40 福岡	28	0	28									
17 石川	8	0	8										41 佐賀	4	0	4									
18 福井	2	0	2										42 長崎	6	0	6									
19 山梨	5	3	0	60.00%	2	1	3	0	2	40.00%	0	2	43 熊本	1	0	1									
20 長野	3	0	3										44 大分	5	0	5									
21 岐阜	19	0	19										45 宮崎	2	0	2									
22 静岡	11	0	11										46 鹿児島	-	0	-									
23 愛知	72	0	72										47 沖縄	-	0	-									
24 三重	3	0	3										全国	1,006	220	597	81.21%	100	101	201	19	189	18.79%	172	17